

特別委員会活動報告 河川環境保全 対策特別委員会

委員長 小川 正人
副委員長 四籠 英夫
委員 水落 孝子・沼倉 啓介
佐藤 英雄・山谷 清

11月24日に関係部長等の出席を得て、放射能対策の状況について、報告を受けた。

はじめに、11月1日に設置した放射能対策室の業務については、

- ① 空間放射線量の測定及び汚染状況の把握のための定点測定及び詳細調査
- ② 放射線測定機器の貸し出し
- ③ 放射性物質検査機器による農畜産物等測定

であるとの説明があった。次に、市民の健康調査に関しては、10月31日に、市長が宮城県知事に対し、丸森町同様の健康調査を行うよう強く要望しているとの説明があった。

また、除染に係る費用を全額国が負担する、除染にかか

ては、時期、地域ともに未定であるため、詳細調査を行いながら指定された場合の受け入れ態勢を整えているとの説明があった。

これらの説明の後、空間放射線量が局所的に高い、ホットスポットについて、速やかな除染は考えられないのかとの質疑については、現在行っている詳細調査は、例えば越

河保育園では約60か所について、それぞれ1センチ、50センチ、100センチと高さを変えて測定して状況の把握に努めている。趣旨は若干異なるが、教育委員会で、緊急雇用創出事業を活用して側溝などの清掃を重点的に行っているとの説明があった。

次に除染にかかる重点調査地域の指定は、どのような状況なのかとの質疑については、現時点では国の指定はなされ

ておらず、指定を受けるかどうかの希望調査が行われている段階であるとの説明があった。

また、簡易水道の水などは導入する放射性物質検査機器での検査は可能なのかとの質疑については、今回の機器に

ついては、農畜産物のほかに水、土などの測定も可能である。ただし、測定は1キログラム当たりの放射性物質の測定になるため、あらかじめ申し込みのうえ、野菜、水、土等、検体1キログラムをビニール袋に入れて、持ち込みいただき測定するように考えているとの説明があった。

これらの質疑応答の後、放射能汚染状況の詳細調査を行っている小原小・中学校及び放射能対策室の現地調査を行った。

本特別委員会としては、今後とも、放射能対策について、状況の変化に注視し、市と一体となって情報の収集に努めていくことを確認したところである。



放射能対策室現地調査

議会広報特別委員会 委員

委員長	大野 栄光
副委員長	山田 裕一
委員	澁谷 政義
委員	伊藤 勝美
委員	管野 恭子
委員	大町 栄信

白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

市議会のホームページに会議録を公開しています。このページでは身近なキーワードとして【介護保険】【いじめ問題】【環境問題】など、その言葉をクリックするか、会議で探したり、発言者、期間で探すこともできます。また、【ことばで探す】を選ぶとキーワードを入力することができるので 効率よく目的の会議録にたどりつけることができます。

2月定例会は
2月16日(木)
開会予定です。
詳しくは
ホームページをご覧ください

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。復興元年といわ
れる平成24年が幕を開けました。
昨年は、3月11日に発災した
東日本大震災により私たちの心、
そして白石市も大きな傷を負
いました。

しかし「絆」という言葉が様々
な場面で用いられ、家族の絆
はもとより、地域の絆、そし
て世界の絆など多くの人々に
支えられ、励まされ、立ち上
がろうとする人々の姿から人
間の尊さや素晴らしさなど人
間力の偉大さを実感いたしま
した。

大震災からの一日も早い復
興とこれまで以上の地域発展
を心から願い全力で邁進して
参ります。

結びに今年もより一層皆様
に分かりやすく、親しまれる「市
議会だより」を目指し、編集
作業を進めて参ります。

本年もどうぞよろしくお願
いいたします。

議会広報特別委員会
副委員長 山田 裕一